

児童生徒の学力向上を目指して

埼玉県では、日頃の教育指導が児童生徒の学力向上に結びついているかどうか検証し、改善を図ることをねらいとして、小学校5年生・中学校2年生を対象に学習状況調査(ペーパーテストと質問紙)を実施し、結果を公表しました。幸手市小・中学校の調査結果の概要についてお知らせします。

▼幸手市の観点別平均正答率

小学校第5学年

	評価の観点	市平均正答率
国語	国語への関心・意欲・態度	62.7
	話す・聞く能力	70.1
	書く能力	30.1
	読む能力	66.7
社会	言語についての知識・理解・技能	80.0
	社会的事象への関心・意欲・態度	68.3
	社会的な思考・判断	75.5
	観察・資料活用技能・表現	85.6
算数	社会的事象についての知識・理解	69.0
	算数への関心・意欲・態度	80.3
	数学的な考え方	61.8
	数量や図形についての表現・処理	71.3
理科	数量や図形についての知識・理解	72.4
	自然事象への関心・意欲・態度	80.8
	科学的な考え方	48.4
	観察・実験の技能・表現	62.6
	自然事象についての知識・理解	78.9

中学校第2学年

	評価の観点	市平均正答率
国語	国語への関心・意欲・態度	68.9
	話す・聞く能力	87.9
	書く能力	42.3
	読む能力	60.9
社会	言語についての知識・理解・技能	78.6
	社会的事象への関心・意欲・態度	40.7
	社会的な思考・判断	59.2
	資料活用技能・表現	53.7
数学	社会的事象についての知識・理解	53.1
	数学への関心・意欲・態度	47.1
	数学的な見方や考え方	47.8
	数学的な表現・処理	63.4
理科	数量や図形についての知識・理解	60.9
	自然事象への関心・意欲・態度	39.8
	科学的な思考	53.2
	観察・実験の技能・表現	55.0
英語	自然事象についての知識・理解	50.4
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	37.4
	表現の能力	36.5
	理解の能力	60.5
	言語や文化についての知識・理解	48.0

調査結果の概要

①ペーパーテスト調査(左図)

観点別にみると「関心・意欲・態度」や「すじ道を立てて考えること」「表現すること」に課題が多いことが分かりました。今後は、興味や関心を高め、児童生徒の多様な考え方を引き出し、そうした考えを共有し、さまざまな方法で表現できる児童生徒の育成をめざす授業改善に取り組みます。

②質問紙調査

▼学校生活など

「学校が好きだ」、「学校のきまりを守っている」と回答している児童生徒の割合が高く、学校生活を肯定的にとらえていることが分かりました。

とらえていることが分かりました。

「勉強は好きだ」と回答した児童生徒の割合が高い一方で、「勉強は好きだ」と回答した割合の低いことから、勉強の大切さは理解しているが、学習への実践力にはつながっていないことが分かりました。また、「学校の授業時間以外に、1日にどれくらい勉強しますか」という質問に対して、「全くしない」と「30分より少ない」を併せて、約30%の児童生徒が回答しており、家庭学習の習慣に課題が多いことが分かりました。

▼読書時間

1日の読書時間に対する質問では、「全くしない・ほとんどしない」と回答した児童生徒が約20%もあり、課題であることがわかりました。

▼基本的な生活習慣・家庭生活など

朝食をきちんと食べることやあいさつをしているかという質問については、約80%の回答率にとどまっています。基本的な生活習慣の根本となる部分ですので、家庭の協力がより一層、必要となります。教育委員会では、「子どもが学ぶ喜びを感じ、分かる授業」を目指し、学校訪問や研修会などを通して教員の授業力向上の支援をしています。

子どもたちにとって最も大切なことは、学ぶ意欲と学び続ける努力であり、さまざまな場で時間をかけて育成されるべきものです。「継続は力なり」の言葉のように、家庭・地域のみなさんご協力を得ながら、「生きる力」が育成できるよう学校教育を支援していきます。



子どもたちにとって最も大切なことは、学ぶ意欲と学び続ける努力であり、さまざまな場で時間をかけて育成されるべきものです。「継続は力なり」の言葉のように、家庭・地域のみなさんご協力を得ながら、「生きる力」が育成できるよう学校教育を支援していきます。

平成22年度埼玉県小・中学校学習状況調査結果については、学校教育課のホームページをご覧ください。

(<http://www.city.saita.lg.jp/>)

各課案内↓学校教育課(43) 問合せ 学校教育課(43) 1111内線632・FAX (43) 3188

健康増進課から大切なお知らせ

問合せ 健康増進課 ☎(42)8421・FAX(42)2130

▼子宮頸がん・小児用肺炎球菌・ヒブワクチン接種無料事業

市では1月21日(予定)からの、実施に向けて準備を進めています。

ワクチン	対象者および区分		接種回数
子宮頸がん	中学1年生～高校1年生相当年齢の女子		3回
小児用肺炎球菌	生後2か月～4歳児	生後2か月～6か月児	4回
		生後7か月～11か月児	3回
		1歳児	2回
		2歳～4歳児	1回
		生後2か月～6か月児	4回
インフルエンザ菌b型(ヒブ)	生後2か月～4歳児	生後7か月～11か月児	3回
		1歳～4歳児	1回

▼接種方法

市が委託する医療機関で個別接種。

※本紙折込みチラシをご覧ください。

※保護者は、医療機関へ事前に予約し、接種する人の氏名、住所、生年月日、わかる証明書(健康保険証など)、母子健康手帳を持参。

▼子宮頸がん予防ワクチン接種

対象 接種日現在で幸手市に住民登録、外国人登録している中学1年生～高

校1年生相当年齢の女子
特徴・効果

発症の多くは発がん性ヒトパピローマウイルスの感染といわれ、多くの場合、自然に排除されますが、長期間感染が持続することで子宮頸がんを発症する場合があります。感染防止のためには10代前半での接種が効果的とされており、半年間で3回の接種が必要です。この接種で子宮頸がん全体の7割が予防できることがわかっています。

※今年度は実施初年度の特例として、高校1年生相当年齢の女子については、今年度に1回目の接種を受けた場合、次年度も対象となります。

▼小児用肺炎球菌およびインフルエンザ菌b型(ヒブ)予防ワクチン接種

対象 接種日現在で幸手市に住民登録、外国人登録している2か月～4歳児
特徴・効果
細菌性髄膜炎の原因の多くは、肺炎球菌とヒブといわれております。生後3か月から2歳になるまでにかかりやすく、治療をおこなっても

予後不良、後遺症が残ること
も少なくありません。

発症防止のためには、生後2か月からの接種が効果的とされており、4回の接種が必要です。

このワクチン接種で発症前の効果的な予防が期待されています。
※詳しくは、ホームページ
<http://www.city.salle.lg.jp>
をご覧ください。

受けましたか？

乳がん子宮がん検診

▼対象者

乳がん検診 40歳以上の偶数年齢の人

子宮がん検診 20～39歳の人および40歳以上の偶数年齢の人

※平成22年4月1日現在の年齢。

▼集団検診

とき 1月17日(月)午後1時から

※受付は、午後12時30分～1時30分。

ところ ウェルス幸手検診ホール

料金 乳がん

40歳代 1500円
50歳以上 1300円
子宮頸がん 900円
予約 健康増進課 ☎(42)8421

▼個別検診

期間 1月31日(月)まで
※期間内でも予約終了となる場合があります。

料金 乳がん 1500円
子宮頸がん 1200円

※医師の指示により体がんも実施の場合は2400円。

検診場所・予約電話

[乳がん検診]	
東埼玉総合病院	☎(33)7099
[子宮がん検診]	
幸手総合病院	☎(42)1211
堀中病院	☎(42)2081
久我産婦人科医院	☎(42)2028
産婦人科木村医院	☎(42)0222
ワイズレディスクリニック	☎(44)0555

▼検診無料クーポン券をお持ちの人へ

有効期限が1月31日(月)までです。転入してきた人やクーポン券を紛失した人、そのほか詳細はお問い合わせください。